

これから教員採用試験を受験するみなさんへ（特に高校受験者へ…）

令和2年度（2020年度）教員採用試験 合格報告
高校商業

★今回のお話は・・・【不合格体験記】

私は今回、8回目の受験で、ようやく合格できました。8回受けて1回の合格と7回の不合格を経験しました。こうして振り返ってみると、合格した回数より、不合格の回数の方が遥かに多いことに気づきました。むしろ、7回も不合格になった自分は「不合格」のプロなのではないかと思えます。

合格した年にやっていた勉強法や気を付けていたことを話そうとも考えましたが、勉強法などは人それぞれやり方が違うので、自分で自分に合った勉強法を探してほしいです。Googleで検索してみてください。合格の秘訣や華々しい合格体験記は、今の時代、検索すればたくさん出てきます。

しかし「不合格体験記」というのはどうだろう？自分が何年も落ち続けた話や、失敗した話を、わざわざする人って、なかなかいないのではないかな。でも実は、その「失敗した話」を真に受けて（笑）、私と同じ過ちを繰り返す人を少なくしたほうが、合格に近づけさせることができるのではないかな。そう考えました。

「不合格になる」ことには、必ず原因や理由があるからです。

そこで、7回も不合格になった私が、みなさんにできることは、自らの「不合格体験記」を話すことなのではないかな。今、過去の私と同じ行動や考え方をしている人は、同じように、次の試験も落ちると思います。逆にいえば、ダメな考え方や行動をしなければ、合格に一步近づくはずですよ。

厳しいことをいうこともあると思いますが、これが現実です。特に高校受験者には受け止めてほしいと思います。そして、これを一つの事例として自分のものとしてほしいです。ぜひ！！過去の私と同じ過ちを繰り返さないでください。

これは、あくまでも一体験ですので、すべての受験者に当てはまることではないことを、申し添えます。

★【太字まね厳禁】過去7回、不合格だった私がやっていた考え方や行動

（1）塾（まなび道）に行く意味をわかっていない ×

- ・塾に通っているだけでは受からない。塾は合格を保証する機関ではない。
- ・塾に行く意味は「時間や情報をお金で買うこと」
- ・塾に求めるものは「過去問の分析」「出題の予想」「勉強場所の確保」「効率」「試験に関する情報」
- ・塾を自分の勉強の一部にする。

（2）講義や模試の受けっぱなし ×

- ・講義を受けたから「理解できた」は間違い。本当にただの勘違い。
- ・復習をしない人は落ちる。
- ・まなび道からもらう資料や課題はすべて解く。間違えたところをチェックして後日解き直す。できないなら、合格はあきらめてください。（特に高校受験者）

（3）捨て科目を作っている ×

- ・捨てていい問題など1問もない（特に高校受験者）
- ・自分のキャリアに関係ないものは「やらない」の間違い → 一部免除者に敵わない。勝負しろ！
- ・一般教養は「沖縄県が教師に求めている幅広い知識と教養」の一つという認識

- ・面接も「当たり前」のことを言うな。「子どもが好き」「子どもの心に寄り添う」はみんな言ってる。
- ・模擬授業や面接の基本的な考え方は「まなび道」を信じること。うまくいかなければ塾のせいにして。
- ・セカンドオピニオンとして、先輩方や管理職の先生にみてもらうこと。
- ・模擬授業や面接の練習をみてもらう人は「信頼できる人」に。これ本当に大事。聞きすぎない。混乱する。
- ・型にはまった授業をするな。それは沖縄県が求めている授業ではない。
- ・一次試験の勉強をしている時から、「この単元だったらこう教えたいな」というイメージを持っておく。
- ・落ちた時に「不合格体験記」を書いていた。これが次年度につながった。不合格体験記、おすすめ。

大切なのは…「二次試験は採用試験である」という認識です。二次試験も結局は「試験」です。ここを間違っ
てはいけません。ここでも目指すべきところは「規格外」です。周りの受験者は関係ありません。

県教育委員会を怒らせること、面接官や主事の先生の「想像の遙か上」をいくことを目指してください。

★受験の極意（持論）

(1)「点数を取る」という意識から「点数を落とさない」という意識への転換

- ・人よりも、点数を落とさなければ、合格する可能性は高くなる。なぜなら、周りが勝手に点数を落として、落ちていくから。受験とは、そういうものです。点数を落とさないための、勉強の仕方を確立してください。
- ・「点数を落とさない」という意識になると、すすんで捨て科目をつくることが、いかに愚かであるかわかるはずです。みすみす、合格を逃すようなことをしないでください。一部免除制度の利用者に負けないでください。あなたなら、できるはず
- ・ケアレスミスに注意。本番はもっと焦ります。だから、普段から「焦ることに慣れてください」。試験を想定した練習を何度もするのです。本番で、ケアレスミスをする可能性がぐっと下がります。

(2)「情報を制するものは、採用試験を制す!!!」

- ・ビジネスの世界では「ヒト」「カネ」「モノ」「情報」が経営資源であるといわれています。その中でも「情報」は厳しいビジネスの世界で生き残っていくために必要な重要資源です。有益な「情報」は、時にお金に変わるのです。
- ・採用試験を受験している上位10人くらいは、「採用試験マニア」です。数々の情報を仕入れて、分析し、次年度の出題などを予測して自分のものになっている、実力のある猛者ばかりです。ぜひ、皆さんもいろいろなところにアンテナを張って、有益な「情報」を得ることを習慣にしてほしい。そのぐらいの気持ちがないと、試験を突破することは難しいです。

(3)「採用試験は、勝負事である」

- ・採用試験の勉強は、教師に求められる幅広い教養を高めること、自らの専門性を磨くことにもつながりますが、採用試験は「勝負事」であるという認識を持っていたほうが良いかと思います。検定試験のように70点以上取ったら全員が合格するような試験ではありません。「受かる人」と「落ちる人」がいる。つまり、勝つ人と負ける人がいるわけです。そして、負ける人のほうが大半だということです。
- ・持っているポテンシャルだけで合格するのは、余程の天才だけだと思います。「受かる人」は、勝つための戦略をちゃんと立てています。採用試験が「勝負事である」以上、勝つための戦略や練習は不可欠です。

【資料編】

どんな勉強をしていたかなど、書かないと怒られそうなので、書きます。

他人の勉強法が、自分の勉強法と合うとは限らないので、ぜひ自分にあった勉強法を確立してください。誰かの参考になれば、幸いです。

★勉強の内容

1 一般教養

①まなび道からもらった講義資料や課題

②教養模試の一般教養

③寝る前に iPad で勉強アプリをやっていました。学校ネットというアプリが結構優秀です（無料）

- ・「英検 英単語」 ・「早打ち英文法」 ・「漢字検定」 ・「四字熟語」 ・「中学社会」
- ・「はんぷく一般常識 ことわざ」 ・「四字熟語 1000」 ・「日本史一問一答」 ・「地理一問一答」
- ・「中学国語文法」 ・「数学検定トレーニング」

2 教職教養

①まなび道からもらった講義資料や課題

②教養模試の教職教養

3 専門教養…（高校商業）

①過去問（8年分）を分析。どこから何が、何点分でているか。教科書のどこから出ているか。

②教科書をすべて揃える。専門は、9割は実教の教科書から出題されるので、問題集も教科書の準拠版がよい。新訂版が出たら、新訂版の教科書は買ったほうがよいです。採用試験では、最新の情報が出題されます。

③学習指導要領をそろえる。専門の学習指導要領は、自分で問題を作成し、繰り返し解きました。

④全科目勉強する。3年間で問題集 17 冊（指導要領含む）を3周した。1年に17冊を、最低1周する。

使用した問題集 一覧

・高等学校学習指導要領解説（商業編） 必ず最新のものを！！

【実教出版】…楽天ブックスとかで、買えたりします。

・ビジネス基礎問題集（新訂版）

・マーケティング問題集（新訂版） ・商品開発問題集 ・広告と販売促進問題集

・ビジネス経済問題集 ・ビジネス経済応用問題集 ・経済活動と法（新訂版）問題集

・学習と検定 情報処理検定（ビジネス情報）2級 ・学習と検定 情報処理検定（ビジネス情報）1級

・学習と検定 情報処理検定（プログラミング）2級 ・学習と検定 情報処理検定（プログラミング）1級

【東京法令出版】…公式サイトから購入できます。

・全商簿記合格ガイド3級 ・全商簿記合格ガイド2級 ・全商簿記合格ガイド1級（会計）

・全商簿記合格ガイド1級（原価計算）

・教科書準拠版 ビジネス実務ワークブック

⑤ビ基やマーケ・経済分野では、教科書の終盤に「重要語句（インデックス）」があるので、それをコピーして、単語部分を修正液で消し、またコピーしてオリジナル単語帳をつくりました。それを3年間で3周した。（最低1年で1周）